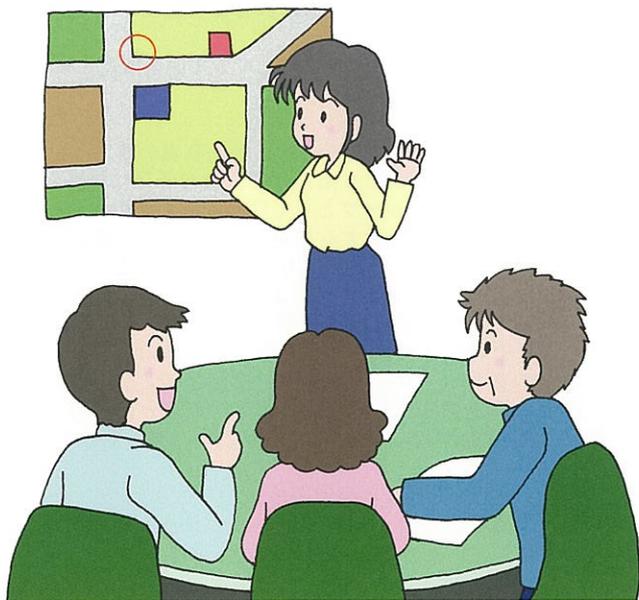


STEP 2 構想づくり

まちの構想づくり

●まちの課題や特徴を出し合います。

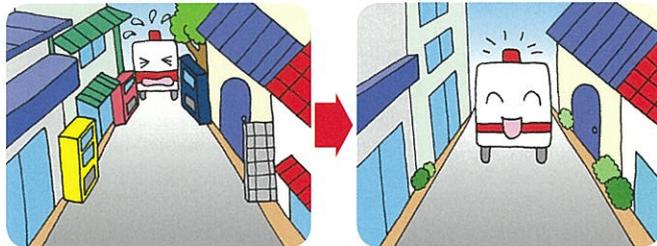
まず、「まちの課題」や「まちの特徴」をみなさんで出し合います。まちの将来構想を検討するために、まちについて客観的に整理することが重要になってきます。



●「まちの将来構想」を整理します。

まちの課題解決や魅力づくりをしていくために、何が必要なかを行政や専門家の情報や意見などを参考にしながら『まちの将来構想』をつくっていきます。

・ルールを決めて道を広げよう



- ・防災に配慮し、地域での建物の不燃化をすすめよう
- ・すべてのひとが安全、快適に行動できるまちづくり
- ・地域の特性を活かした景観づくり

まちづくり構想の内容

(大阪府まちづくり支援制度運用要領第7条)

- (1) 趣旨又は目的
- (2) まちづくり構想に係る地域の範囲と現況
- (3) 当該地域の将来イメージ
- (4) 土地利用、基盤施設等のあり方
- (5) まちづくり構想図

では、まちの構想づくりや事業を実施する段階で見られる取り組み事例を紹介します。

●広報活動

まちづくりに向けた様々な活動を「まちづくりニュース」などで、広く住民の方々に知ってもらうことも重要です。中には、住民が手作りで「芝居」を企画・演出して、まちづくりに対する関心を高めた例もあります。



●まちの宝を探す

まちの良いところを残していくこともまちづくりの1つです。そのための活動として、まち歩きのパンフレットの作成や地図づくりも行なわれています。

●多くの人が参加できる機会づくり

専門家の意見を聞いたり、講師を呼んで勉強会を開催する講習会や、楽しみながらまちづくりを考える雰囲気をつくるため、「まちかど写真展」といったイベントも催されています。

